

Acoustic Floor Mat

施工要領

getzner
engineering a quiet future



1) 施工を始める前に本施工要領書をご確認ください。



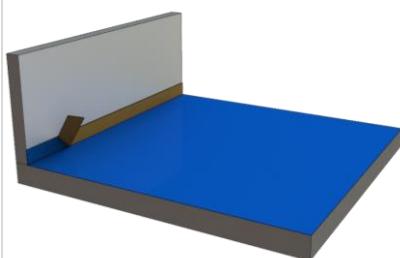
2) 床スラブの状態

- スラブが濡れている場合は水を除去する
- スラブ上または壁際の突起物を除去しスラブを清掃する
- 車体の床は平滑に仕上げる

床スラブに残る配筋や突起物は取り除く。

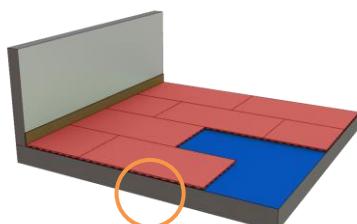


3) コンクリートからの湿気が室内に入らない為の調湿シートを必要に応じて設置する。



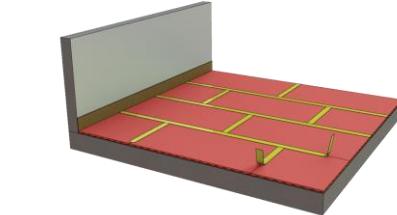
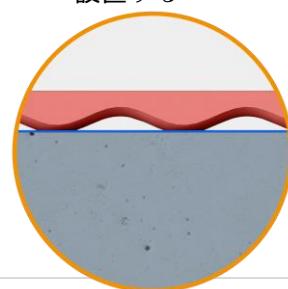
4) 立上り材の取り付け

- 立上りの車体は平滑に仕上げる
- 立上り材高さは床仕上げ面より高くしておく
- ガムテープで仮固定し取り付けする



5) アコースティックフロアマットの敷き込み

- イモ目地とならないよう割り付ける
- 防振材は波形面を下方向に設置する



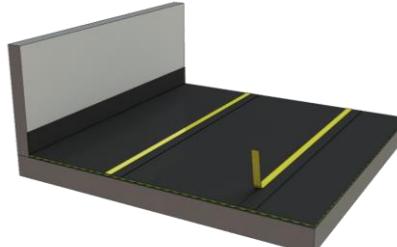
6) 防振材マットが滑らないよう布粘着テープで接着部を留める。

getzner
engineering a quiet future

Acoustic Floor Mat

施工要領

getzner
engineering a quiet future



7) ポリフィルム(0.2mm)の設置

- ポリフィルムのジョイント部は 20cm 重ねる
- ポリフィルムの立上部は 仕上げの床レベルから 15-20cm 以上に貼り伸ばす

8) ポリフィルムの継ぎ目は重ね代をとり、布粘着テープで目張り処理をする。

9) 施工指針に従ってコンクリートを打設する。



10) 仕上げ材を施工する。

11) 床仕上げの施工後にあらかじめ床仕上げ面より高くしてい立上がり材を所定の高さに切り取る。

すべての情報およびデータはゲツナー・ヴェルクシュトッフェ社の有する知見に基づいています。
これらはアコースティックフロアマットの提案のために使用され、予告なく変更することがあります。